

## 堅志学通信 令和3年度 第2号

※堅志学とは三原高校における「総合的な探究の時間」の呼称です。

三原高校<sup>けんしがく</sup>の堅志学では、  
県立広島大学の学生さんたちと  
共同プロジェクトを行っています。

三原高生は県立広島大  
学の学生さんと一緒に  
学んでいます。

今日は「三原すこやかプロジェクト」の中の3つの企画で、外部の専門家をお招きして、三原高校で高校生と大学生の共同学習を行いました。

### 三原すこやかプロジェクト

障がい者の夢実現  
～僕の夢はスイーツショッ  
プを開くことです～



障がいをもつ方の話を聞いたり、大学生から大学での研究内容について説明を受けたりしました。三原高生の研究内容についても発表し、意見交流をしました。

インクルーシブショップ  
～誰にとっても利用しや  
すいお店をつくらう～



校内をお店に見立て、視覚が不自由な方の店舗利用に関する課題を把握する学習を行いました。

障がい者スポーツ  
～障がいの有無にかかわらず  
スポーツを楽しむ健康増進～



車椅子スポーツの「ボッチャ」を、大学生から説明を受けながら、車イスの方と一緒に体験をしました。

#### 【参加した三原高生の声】

【Aさん】初めてだったが、大学生の先輩方は優しく丁寧に教えて下さり、みんなが楽しくスポーツを体験することが出来ました。この体験を活かして今後の堅志学の授業に学んだことを取り入れながら進めていきたいと思いました。

【Bさん】将来、自分が大人になって周りにそういう方がいた時、今回学んだ経験をいかして障がい者の方と自分たちがより良い空間や関係を築き上げていけたらいいなと思いました。今度夏休みにボランティアとして参加させていただく時も、もっといい所や気づいた点を見つけることが出来たらいいなと思います。